

公務員本科

科目	時間数	単位
政治	30	2
経済	30	2
世界史	45	3
日本史	45	3
地理	30	2
生物	30	2
地学	30	2
化学	30	2
物理	30	2
判断推理	120	8
数的推理	120	8
適性試験	30	2
模擬試験演習	90	6
総合演習	30	2
公務員リテラシー	60	4
ビジネス実務	90	6
合計	840	56

科目	社会科学（政治）講義				
単位	1（単位）				
時間数	15 時間				
担当者	蓮見孝二				
実施年度	2025 年度				
実施時期	2025 年 4 月～7 月第 2 週				
授業形式	講義：○		演習：		実習：
学習目標	公務員試験「社会科学」の「政治」の学習内容を理解し、公務員試験の本試験問題に対して正答を出せる知識を身に付ける。				
使用教材	立川学園オリジナルテキスト「社会科学（第 4 版）」 立川学園問題集「社会科学」				
授業計画	① 憲法総論～基本的人権（分類まで） ② 基本的人権（諸問題から）～総則的権利 ③ 精神的自由権～経済的自由権 ④ 人身の自由～社会権 ⑤ 受益権～国会（構成まで） ⑥ 国会（会期から） ⑦ 内閣～裁判所（日本の制度まで） ⑧ 裁判所（裁判官から）～地方自治 ⑨ 政治に関する基礎概念～選挙 ⑩ 各国の政治制度 ⑪ 政党と圧力団体～政治思想 ⑫ 国際政治				
評価方法	方法		評価割合		備考
	確認テスト		40%		計 2 回実施
	模擬試験		40%		
	授業態度・意欲等		20%		
成績評価基準	可否	合格			不合格
	評価	A	B	C	D
	評点	100～80	79～70	69～60	59～0

科目	社会科学（政治）演習				
単位	1（単位）				
時間数	15 時間				
担当者	蓮見孝二				
実施年度	2025 年度				
実施時期	2025 年 7 月～10 月第 2 週				
授業形式	講義：	演習：○	実習：		
学習目標	公務員試験「社会科学」の「政治」の内容の理解を深めるとともに、実践的な力を育み、公務員試験において正答を導く力を身に付ける。				
使用教材	立川学園オリジナルテキスト「社会科学（第 4 版）」 立川学園問題集「社会科学」				
授業計画	① 憲法（総論・人権） ② 憲法（統治①） ③ 憲法（統治②） ④ 政治（選挙・各国の政治） ⑤ 政治（思想・国際政治） ⑥ 国家一般過去問演習① ⑦ 国家一般過去問演習② ⑧ 裁判所・東京消防・特別区過去問演習 ⑨ 憲法（地方初級過去問演習） ⑩ 政治（地方初級過去問演習） ⑪ 海上保安・地方初級過去問演習 ⑫ 刑務官過去問演習 ⑬ 警視庁Ⅲ類過去問演習 ⑭ 政治（警察官過去問演習） ⑮ 憲法（警察官過去問演習）				
評価方法	方法	評価割合		備考	
	各回の演習結果	40%			
	模擬試験	40%			
	授業態度・意欲等	20%			
成績評価基準	合否	合格			不合格
	評価	A	B	C	D
	評点	100～80	79～70	69～60	59～0

科目	社会科学（経済）講義				
単位	1（単位）				
時間数	15 時間				
担当者	蓮見孝二				
実施年度	2025 年度				
実施時期	2025 年 4 月～7 月第 2 週				
授業形式	講義：○	演習：	実習：		
学習目標	公務員試験「社会科学」の「経済」の学習内容を理解し、公務員試験の本試験問題に対して正答を出せる知識を身に付ける。				
使用教材	立川学園オリジナルテキスト「社会科学（第 4 版）」 立川学園問題集「社会科学」				
授業計画	① 市場経済 ② 金融（通貨制度・日本銀行の役割） ③ 金融（銀行の業務・金融の自由化・金融の規制緩和） ④ 財政政策と租税制度（財政・予算・租税） ⑤ 財政政策と租税制度（公債・財政投融资・地方財政） ⑥ 現代の企業 ⑦ 国民経済と国民所得 ⑧ 景気循環と経済成長 ⑨ 国際経済（国際分業・国際収支・為替） ⑩ 国際経済（国際経済体制～ODA） ⑪ 戦後の日本経済 ⑫ 経済学説				
評価方法	方法	評価割合		備考	
	確認テスト	40%		計 2 回実施	
	模擬試験	40%			
	授業態度・意欲等	20%			
成績評価基準	可否	合格			不合格
	評価	A	B	C	D
	評点	100～80	79～70	69～60	59～0

科目	社会科学（経済）演習				
単位	1（単位）				
時間数	15 時間				
担当者	蓮見孝二				
実施年度	2025 年度				
実施時期	2025 年 7 月～10 月第 2 週				
授業形式	講義：	演習：○	実習：		
学習目標	公務員試験「社会科学」の「経済」の内容の理解を深めるとともに、実践的な力を育み、公務員試験本試験において正答を導く力を身に付ける。				
使用教材	立川学園オリジナルテキスト「社会科学（第 4 版）」 立川学園問題集「社会科学」				
授業計画	① 2019 年度過去問対策 ② 2018 年度過去問対策 ③ 2017 年度過去問対策 ④ 2016 年度過去問対策 ⑤ 2015 年度過去問対策 ⑥ 2014 年度過去問対策 ⑦ 2013 年度過去問対策 ⑧ 2012 年度過去問対策 ⑨ 2011 年度過去問対策 ⑩ 2010 年度過去問対策 ⑪ 2009 年度過去問対策 ⑫ 2008 年度過去問対策				
評価方法	方法	評価割合		備考	
	確認テスト	40%		計 2 回実施	
	模擬試験	40%			
	授業態度・意欲等	20%			
成績評価基準	合否	合格			不合格
	評価	A	B	C	D
	評点	100～80	79～70	69～60	59～0

科目	人文科学（世界史）講義				
単位	2（単位）				
時間数	30 時間				
担当者	馬渡景也				
実施年度	2025 年度				
実施時期	2025 年 4 月～7 月第 2 週				
授業形式	講義：○		演習：		実習：
学習目標	公務員試験「人文科学」の「世界史」の学習内容を理解し、公務員試験の本試験問題に対して正答を出せる知識を身に付ける。				
使用教材	立川学園オリジナルテキスト「人文科学（第 4 版）」 立川学園問題集「人文科学」				
授業計画	① 古代オリエント・ギリシア ② 古代ローマ ③ 中世ヨーロッパ ④ ルネサンス・大航海時代・宗教改革 ⑤ 絶対王政 ⑥ 市民革命と自由主義 ⑦ 帝国主義と第一次世界大戦 ⑧ 世界恐慌と第二次世界大戦 ⑨ 現代の世界 ⑩ 中国史Ⅰ ⑪ 中国史Ⅱ ⑫ イスラム・トルコ・インド史				
評価方法	方法		評価割合		備考
	確認テスト		40%		計 2 回実施
	模擬試験		40%		
	授業態度・意欲等		20%		
成績評価基準	可否	合格			不合格
	評価	A	B	C	D
	評点	100～80	79～70	69～60	59～0

科目	人文科学（世界史）演習				
単位	2（単位）				
時間数	30 時間				
担当者	馬渡景也				
実施年度	2025 年度				
実施時期	2025 年 7 月～10 月第 2 週				
授業形式	講義：	演習：○	実習：		
学習目標	公務員試験「人文科学」の「世界史」の内容の理解を深めるとともに、実践的な力を育み、公務員試験本試験において正答を導く力を身に付ける。				
使用教材	立川学園オリジナルテキスト「人文科学（第 4 版）」 立川学園問題集「人文科学」				
授業計画	① 第 1 回 総合演習 ② 第 2 回 総合演習 ③ 第 3 回 総合演習 ④ 第 4 回 総合演習 ⑤ 第 5 回 総合演習 ⑥ 第 6 回 総合演習 ⑦ 第 7 回 総合演習 ⑧ 第 8 回 総合演習 ⑨ 第 9 回 総合演習 ⑩ 第 10 回 総合演習 ⑪ 第 11 回 総合演習 ⑫ 第 12 回 総合演習				
評価方法	方法	評価割合		備考	
	確認テスト	40%		計 2 回実施	
	模擬試験	40%			
	授業態度・意欲等	20%			
成績評価基準	可否	合格			不合格
	評価	A	B	C	D
	評点	100～80	79～70	69～60	59～0

科目	人文科学（日本史）講義				
単位	2（単位）				
時間数	30 時間				
担当者	馬渡景也				
実施年度	2025 年度				
実施時期	2025 年 4 月～7 月第 2 週				
授業形式	講義：○		演習：		実習：
学習目標	公務員試験「人文科学」の「日本史」の学習内容を理解し、公務員試験の本試験問題に対して正答を出せる知識を身に付ける。				
使用教材	立川学園オリジナルテキスト「人文科学（第 4 版）」 立川学園問題集「人文科学」				
授業計画	① 古代Ⅰ 旧石器時代～飛鳥時代 ② 古代Ⅱ 律令制度～平安時代（初期） ③ 古代Ⅲ 平安時代（中・後期） ④ 中世Ⅰ 鎌倉時代 ⑤ 中世Ⅱ 室町時代 ⑥ 近世Ⅰ 安土桃山時代～江戸時代（幕府成立） ⑦ 近世Ⅱ 江戸時代（初期外交～幕政改革） ⑧ 近世Ⅲ 江戸時代（江戸社会～幕末） ⑨ 近代Ⅰ 明治時代（明治維新・民権運動） ⑩ 近代Ⅱ 明治時代（日清・日露戦争） ⑪ 近代Ⅲ 大正時代 ⑫ 現代Ⅰ 戦前・戦後史				
評価方法	方法		評価割合		備考
	確認テスト		40%		計 2 回実施
	模擬試験		40%		
	授業態度・意欲等		20%		
成績評価基準	可否	合格			不合格
	評価	A	B	C	D
	評点	100～80	79～70	69～60	59～0

科目	人文科学（日本史）演習				
単位	1（単位）				
時間数	15 時間				
担当者	馬渡景也				
実施年度	2025 年度				
実施時期	2025 年 7 月～10 月第 2 週				
授業形式	講義：	演習：○	実習：		
学習目標	公務員試験「人文科学」の「日本史」の内容の理解を深めるとともに、実践的な力を育み、公務員試験本試験において正答を導く力を身に付ける。				
使用教材	立川学園オリジナルテキスト「人文科学（第 4 版）」 立川学園問題集「人文科学」				
授業計画	① 江戸時代① ② 江戸時代② ③ 江戸時代③ ④ 明治時代① ⑤ 明治時代② ⑥ 大正時代・昭和初期 ⑦ 戦後史 ⑧ テーマ史 ⑨ 総合演習① ⑩ 総合演習② ⑪ 総合演習③ ⑫ 総合演習④				
評価方法	方法	評価割合		備考	
	各回の演習結果	40%			
	模擬試験	40%			
	授業態度・意欲等	20%			
成績評価基準	可否	合格			不合格
	評価	A	B	C	D
	評点	100～80	79～70	69～60	59～0

科目	人文科学（地理）講義				
単位	1（単位）				
時間数	15 時間				
担当者	馬渡景也				
実施年度	2025 年度				
実施時期	2025 年 4 月～7 月第 2 週				
授業形式	講義：○		演習：		実習：
学習目標	公務員試験「人文科学」の「地理」の学習内容を理解し、公務員試験の本試験問題に対して正答を出せる知識を身に付ける。				
使用教材	立川学園オリジナルテキスト「人文科学（第 4 版）」 立川学園問題集「人文科学」				
授業計画	① 地理学の基本 ② 世界の地形 ③ 気候、植生、土壌 ④ 世界の農業、林業、水産業 ⑤ 世界の鉱工業 ⑥ 人口、人種、民族 ⑦ 都市、国家 ⑧ アジアの国々 ⑨ アフリカの国々 ⑩ ヨーロッパの国々 ⑪ アングロアメリカ・ラテンアメリカの国々 ⑫ オセアニアの国々				
評価方法	方法		評価割合		備考
	確認テスト		40%		計 2 回実施
	模擬試験		40%		
	授業態度・意欲等		20%		
成績評価基準	可否	合格			不合格
	評価	A	B	C	D
	評点	100～80	79～70	69～60	59～0

科目	人文科学（地理）演習				
単位	1（単位）				
時間数	15 時間				
担当者	馬渡景也				
実施年度	2025 年度				
実施時期	2025 年 7 月～10 月第 2 週				
授業形式	講義：	演習：○	実習：		
学習目標	公務員試験「人文科学」の「地理」の内容の理解を深めるとともに、実践的な力を育み、公務員試験本試験において正答を導く力を身に付ける。				
使用教材	立川学園オリジナルテキスト「人文科学（第 4 版）」 立川学園問題集「人文科学」				
授業計画	① 第 1 回 総合演習 ② 第 2 回 総合演習 ③ 第 3 回 総合演習 ④ 第 4 回 総合演習 ⑤ 第 5 回 総合演習 ⑥ 第 6 回 総合演習 ⑦ 第 7 回 総合演習 ⑧ 第 8 回 総合演習 ⑨ 第 9 回 総合演習 ⑩ 第 10 回 総合演習 ⑪ 第 11 回 総合演習 ⑫ 第 12 回 総合演習				
評価方法	方法		評価割合	備考	
	確認テスト		40%	計 2 回実施	
	模擬試験		40%		
	授業態度・意欲等		20%		
成績評価基準	合否	合格			不合格
	評価	A	B	C	D
	評点	100～80	79～70	69～60	59～0

科目	自然科学（生物）講義				
単位	1（単位）				
時間数	15 時間				
担当者	山口朱美				
実施年度	2025 年度				
実施時期	2025 年度 4 月～7 月第 2 週				
授業形式	講義：○		演習：		実習：
学習目標	公務員試験「自然科学」の「生物」の学習内容を理解し、公務員試験の本試験問題に対して正答を出せる知識を身に付ける。				
使用教材	立川学園オリジナルテキスト「自然科学（第 4 版）」 立川学園問題集「自然科学」				
授業計画	① 細胞（細胞の構造と細胞小器官） ② 細胞（細胞膜の性質・細胞分裂）・代謝（代謝） ③ 代謝（異化） ④ 代謝（同化） ⑤ 代謝（消化・吸収・肝臓・腎臓） ⑥ 反応と調節（恒常性 1：血液） ⑦ 反応と調節（恒常性 2：免疫） ⑧ 反応と調節（神経系） ⑨ 反応と調節（自律神経とホルモンによる調節） ⑩ 遺伝・生殖（遺伝子の本体） ⑪ 生物と環境・進化（生物と環境） ⑫ 生物と環境・進化（植物群落と遷移）				
評価方法	方法		評価割合		備考
	確認テスト		40%		計 2 回実施
	模擬試験		40%		
	授業態度・意欲等		20%		
成績評価基準	可否	合格			不合格
	評価	A	B	C	D
	評点	100～80	79～70	69～60	59～0

科目	自然科学（生物）演習				
単位	1（単位）				
時間数	15 時間				
担当者	山口朱美				
実施年度	2025 年度				
実施時期	2025 年 7 月～10 月第 2 週				
授業形式	講義：		演習：○		実習：
学習目標	公務員試験「自然科学」の「生物」の内容の理解を深めるとともに、実践的な力を育み、公務員試験本試験において正答を導く力を身に付ける。				
使用教材	立川学園オリジナルテキスト「自然科学（第 4 版）」 立川学園作成・編集による演習問題				
授業計画	① 生物 細胞・代謝（1） ② 生物 代謝（2） ③ 生物 反応と調節（1） ④ 生物 反応と調節（2） ⑤ 生物 遺伝・生殖・生物と環境・進化 ⑥ 総合問題（1） ⑦ 総合問題（2） ⑧ 総合問題（3）				
評価方法	方法		評価割合		備考
	確認テスト		40%		計 2 回実施
	模擬試験		40%		
	授業態度・意欲等		20%		
成績評価基準	合否	合格			不合格
	評価	A	B	C	D
	評点	100～80	79～70	69～60	59～0

科目	自然科学（地学）講義				
単位	1（単位）				
時間数	15 時間				
担当者	山口朱美				
実施年度	2025 年度				
実施時期	2025 年 4 月～7 月第 2 週				
授業形式	講義：○		演習：		実習：
学習目標	公務員試験「自然科学」の「地学」の学習内容を理解し、公務員試験の本試験問題に対して正答を出せる知識を身に付ける。				
使用教材	立川学園オリジナルテキスト「自然科学（第 4 版）」 立川学園問題集「自然科学」				
授業計画	① 大気の構造と気象（大気の構造） ② 大気の構造と気象（大気の運動と気象） ③ 大気の構造と気象（日本の気象・基本的な気象現象） ④ 大気の構造と気象（海水の運動） ⑤ 地震・火山・地球の歴史（地震・地球の内部構造） ⑥ 地震・火山・地球の歴史（プレートテクトニクス） ⑦ 地震・火山・地球の歴史（火山活動・岩石の特徴と分類） ⑧ 地震・火山・地球の歴史（地層・地質時代と化石） ⑨ 宇宙（恒星） ⑩ 宇宙（太陽系） ⑪ 宇宙（太陽と月） ⑫ 宇宙（地球）				
評価方法	方法		評価割合		備考
	確認テスト		40%		計 2 回実施
	模擬試験		40%		
	授業態度・意欲等		20%		
成績評価基準	可否	合格			不合格
	評価	A	B	C	D
	評点	100～80	79～70	69～60	59～0

科目	自然科学（地学）演習				
単位	1（単位）				
時間数	15 時間				
担当者	山口朱美				
実施年度	2025 年度				
実施時期	2025 年 7 月～10 月第 2 週				
授業形式	講義：	演習：○		実習：	
学習目標	公務員試験「自然科学」の「地学」の内容の理解を深めるとともに、実践的な力を育み、公務員試験本試験において正答を導く力を身に付ける。				
使用教材	立川学園オリジナルテキスト「自然科学（第 4 版）」 立川学園作成・編集による演習問題				
授業計画	① 大気の構造と気象 ② 地震・火山・地球の歴史（1） ③ 地震・火山・地球の歴史（2） ④ 宇宙 ⑤ 総合問題（1） ⑥ 総合問題（2） ⑦ 総合問題（3）				
評価方法	方法		評価割合		備考
	確認テスト		40%		計 2 回実施
	模擬試験		40%		
	授業態度・意欲等		20%		
成績評価基準	可否	合格			不合格
	評価	A	B	C	D
	評点	100～80	79～70	69～60	59～0

科目	自然科学（化学）講義				
単位	1（単位）				
時間数	15 時間				
担当者	山口朱美				
実施年度	2025 年度				
実施時期	2025 年 4 月～7 月第 2 週				
授業形式	講義：○		演習：		実習：
学習目標	公務員試験「自然科学」の「化学」の学習内容を理解し、公務員試験の本試験問題に対して正答を出せる知識を身に付ける。				
使用教材	立川学園オリジナルテキスト「自然科学（第 4 版）」 立川学園問題集「自然科学」				
授業計画	① 物質の構成粒子（原子の構造・電子殻と電子配置） ② 物質の構成粒子（イオンのなりたち） ③ 物質の構成粒子（化学結合） ④ 物質の構成粒子（原子量・分子量と物質量） ⑤ 物質の構成粒子（化学反応式と物質量） ⑥ 物質の変化（酸と塩基） ⑦ 物質の変化（中和反応） ⑧ 物質の変化（酸化還元反応） ⑨ 物質の変化（イオン傾向・電池 1） ⑩ 物質の変化（電池 2・電気分解） ⑪ 無機物質（非金属の性質） ⑫ 無機物質（金属の性質）				
評価方法	方法		評価割合		備考
	確認テスト		40%		計 2 回実施
	模擬試験		40%		
	授業態度・意欲等		20%		
成績評価基準	可否	合格			不合格
	評価	A	B	C	D
	評点	100～80	79～70	69～60	59～0

科目	自然科学（化学）演習				
単位	1（単位）				
時間数	15 時間				
担当者	山口朱美				
実施年度	2025 年度				
実施時期	2025 年 7 月～10 月第 2 週				
授業形式	講義：	演習：○	実習：		
学習目標	公務員試験「自然科学」の「化学」の内容の理解を深めるとともに、実践的な力を育み、公務員試験本試験において正答を導く力を身に付ける。				
使用教材	立川学園オリジナルテキスト「自然科学（第 4 版）」 立川学園作成・編集による演習問題				
授業計画	① 化学 物質の構成粒子 ② 化学 物質の変化（1） ③ 化学 物質の変化（2） ④ 化学 無機物質（1） ⑤ 化学 無機物質（2） ⑥ 総合問題（1） ⑦ 総合問題（2） ⑧ 総合問題（3）				
評価方法	方法	評価割合		備考	
	確認テスト	40%		計 2 回実施	
	模擬試験	40%			
	授業態度・意欲等	20%			
成績評価基準	可否	合格			不合格
	評価	A	B	C	D
	評点	100～80	79～70	69～60	59～0

科目	自然科学（物理）講義				
単位	1（単位）				
時間数	15 時間				
担当者	山口朱美				
実施年度	2025 年度				
実施時期	2025 年 4 月～7 月第 2 週				
授業形式	講義：○		演習：		実習：
学習目標	公務員試験「自然科学」の「物理」の学習内容を理解し、公務員試験の本試験問題に対して正答を出せる知識を身に付ける。				
使用教材	立川学園オリジナルテキスト「自然科学（第 4 版）」 立川学園問題集「自然科学」				
授業計画	① 力（力・滑車） ② 力（ばね・てんびん） ③ 運動（等加速度運動・等速度運動） ④ 運動（重力運動 1：自由落下・投げ上げ） ⑤ 運動（重力運動 2：水平投射・斜方投射） ⑥ エネルギー（仕事・力学的エネルギー） ⑦ 力と運動（運動量）・エネルギー（熱量） ⑧ 波動（波動・音波） ⑨ 波動（電磁波・光波・レンズ） ⑩ 電気（電流と抵抗） ⑪ 電気（電流と仕事）・電界と磁界 ⑫ 原子物理				
評価方法	方法		評価割合		備考
	確認テスト		40%		計 2 回実施
	模擬試験		40%		
	授業態度・意欲等		20%		
成績評価基準	可否	合格			不合格
	評価	A	B	C	D
	評点	100～80	79～70	69～60	59～0

科目	自然科学（物理）演習				
単位	1（単位）				
時間数	15 時間				
担当者	山口朱美				
実施年度	2025 年度				
実施時期	2025 年 7 月～10 月第 2 週				
授業形式	講義：		演習：○		実習：
学習目標	公務員試験「自然科学」の「物理」の内容の理解を深めるとともに、実践的な力を育み、公務員試験本試験において正答を導く力を身に付ける。				
使用教材	立川学園オリジナルテキスト「自然科学（第 4 版）」 立川学園作成・編集による演習問題				
授業計画	① 物理 力・運動 ② 物理 力と運動・エネルギー ③ 物理 波動 ④ 物理 電気・電界と磁界・原子物理 ⑤ 総合問題（1） ⑥ 総合問題（2） ⑦ 総合問題（3）				
評価方法	方法		評価割合		備考
	確認テスト		40%		計 2 回実施
	模擬試験		40%		
	授業態度・意欲等		20%		
成績評価基準	合否	合格			不合格
	評価	A	B	C	D
	評点	100～80	79～70	69～60	59～0

科目	判断推理講義				
単位	4（単位）				
時間数	60 時間				
担当者	岩永 敦				
実施年度	2025 年度				
実施時期	2025 年 4 月～7 月第 2 週				
授業形式	講義：○		演習：		実習：
学習目標	公務員試験「判断推理」の学習内容を理解し、公務員試験の本試験問題に対して正答を出せる知識を身に付ける。				
使用教材	立川学園オリジナルレジュメ「判断推理」 立川学園問題集「判断推理・数的推理」				
授業計画	① 論理 ② 集合・人数 ③ 対応関係 ④ 順序関係 ⑤ うそつき・位置関係 ⑥ 試合と勝敗・手順 ⑦ 軌跡 ⑧ 平面図形・立体図形 ⑨ 正多面体・断面 ⑩ 展開図 ⑪ 道順・位相 ⑫ 暗号・数量推理				
評価方法	方法		評価割合		備考
	確認テスト		40%		計 2 回実施
	模擬試験		40%		
	授業態度・意欲等		20%		
成績評価基準	可否	合格			不合格
	評価	A	B	C	D
	評点	100～80	79～70	69～60	59～0

科目	判断推理演習				
単位	4（単位）				
時間数	60 時間				
担当者	岩永 敦				
実施年度	2025 年度				
実施時期	2025 年 7 月～10 月第 2 週				
授業形式	講義：		演習：○		実習：
学習目標	公務員試験「判断推理」の内容の理解を深めるとともに、実践的な力を育み、公務員試験本試験において正答を導く力を身に付ける。				
使用教材	立川学園オリジナルレジュメ「判断推理」 立川学園作成・編集による演習問題				
授業計画	① 論理・集合・人数 ② 対応関係・順序関係 ③ うそつき・位置関係 ④ 試合と勝敗・手順 ⑤ 軌跡・平面図形・立体図形 ⑥ 正多面体・断面・切断 ⑦ 展開図 ⑧ 道順・位相 ⑨ 暗号・数量推理 ⑩ 総合演習（1） ⑪ 総合演習（2） ⑫ 総合演習（3）				
評価方法	方法		評価割合		備考
	各回の演習結果		40%		
	模擬試験		40%		
	授業態度・意欲等		20%		
成績評価基準	可否	合格			不合格
	評価	A	B	C	D
	評点	100～80	79～70	69～60	59～0

科目	数的推理				
単位	4（単位）				
時間数	60 時間				
担当者	山口朱美				
実施年度	2025 年度				
実施時期	2025 年 4 月～7 月第 2 週				
授業形式	講義：○	演習：	実習：		
学習目標	公務員試験「数的推理」の学習内容を理解し、公務員試験の本試験問題に対して正答を出せる知識を身に付ける。				
使用教材	立川学園オリジナルレジュメ「数的推理」 立川学園問題集「判断推理・数的推理」				
授業計画	① 数の性質（素因数分解・倍数・約数） ② 方程式 ③ 比・割合、濃度 ④ 利益・売買、仕事算・ニュートン算 ⑤ 速さ（通過算・流水算） ⑥ 速さ（旅人算・ダイアグラム） ⑦ 場合の数 ⑧ 確率 ⑨ 図形（多角形） ⑩ 図形（円） ⑪ 記数法 ⑫ 数列				
評価方法	方法	評価割合	備考		
	確認テスト	40%	計 2 回実施		
	模擬試験	40%			
	授業態度・意欲等	20%			
成績評価基準	可否	合格			不合格
	評価	A	B	C	D
	評点	100～80	79～70	69～60	59～0

科目	数的推理演習				
単位	4（単位）				
時間数	60 時間				
担当者	山口朱美				
実施年度	2025 年度				
実施時期	2025 年 7 月～10 月第 2 週				
授業形式	講義：		演習：○		実習：
学習目標	公務員試験「数的推理」の内容の理解を深めるとともに、実践的な力を育み、公務員試験本試験において正答を導く力を身に付ける。				
使用教材	立川学園オリジナルレジュメ「数的推理」 立川学園作成・編集による演習問題				
授業計画	① 数の性質 ② 記数法・数列 ③ 方程式、比・割合、濃度 ④ 利益・売買、仕事算・ニュートン算 ⑤ 速さ ⑥ 場合の数、確率 ⑦ 図形（多角形・相似） ⑧ 図形（円） ⑨ 図形（立体） ⑩ 総合演習（1） ⑪ 総合演習（2） ⑫ 総合演習（3）				
評価方法	方法		評価割合		備考
	各回の演習結果		40%		
	模擬試験		40%		
	授業態度・意欲等		20%		
成績評価基準	可否	合格			不合格
	評価	A	B	C	D
	評点	100～80	79～70	69～60	59～0

科目	適性試験演習				
単位	1（単位）				
時間数	15 時間				
担当者	山口朱美				
実施年度	2025 年度				
実施時期	2025 年 4 月～7 月第 2 週				
授業形式	講義：	演習：○	実習：		
学習目標	公務員試験科目の一つである適性試験において、合格点を取るための正確性とスピードを身に付ける。				
使用教材	実務教育出版「適性試験ステップ 25[基礎]編」 実務教育出版「適性試験ステップ 25[実践]編」				
授業計画	・ 1 回の検査 30 分(練習時間 10 分、検査 15 分、確認 5 分) ・ 月～金までの 5 日間×10 週 ・ ステップ 1 ～ステップ 25 を、基礎編、応用編共に繰り返し行う。				
評価方法	方法	評価割合		備考	
	各検査	60%		得点の平均×60%	
	模擬試験	0%			
	授業態度・意欲等	40%		得点の伸びを加味する	
成績評価基準	可否	合格			不合格
	評価	A	B	C	D
	評点	100～80	79～70	69～60	59～0

科目	適性試験演習				
単位	1（単位）				
時間数	15 時間				
担当者	山口朱美				
実施年度	2025 年度				
実施時期	2024 年 7 月～9 月第 1 週				
授業形式	講義：	演習：○	実習：		
学習目標	公務員試験科目の一つである適性試験において、合格点を取るための正確性とスピードを身に付ける。				
使用教材	実務教育出版「適性試験ステップ 25[基礎]編」 実務教育出版「適性試験ステップ 25[実践]編」				
授業計画	・ 1 回の検査 30 分(練習時間 10 分、検査 15 分、確認 5 分) ・ 月～金までの 5 日間×6 週 ・ ステップ 1 ～ステップ 25 を、基礎編、応用編共に繰り返し行う。				
評価方法	方法	評価割合		備考	
	各検査	60%		得点の平均×60%	
	模擬試験	0%			
	授業態度・意欲等	40%		得点の伸びを加味する	
成績評価基準	可否	合格			不合格
	評価	A	B	C	D
	評点	100～80	79～70	69～60	59～0

科目	模擬試験演習				
単位	3（単位）				
時間数	45 時間				
担当者	蓮見孝二				
実施年度	2025 年度				
実施時期	2025 年 4 月～7 月第 2 週				
授業形式	講義：		演習：○		実習：
学習目標	本試験と同様の模擬試験を解くことで、実力を身に付ける。 主に、授業の進度に合わせた模擬試験を実施し、習熟度の確認を行う。				
使用教材	立川学園オリジナル模擬試験「初級ゼロワン[基礎]」 立川学園オリジナル模擬試験「初級ゼロワン[実力]」 国家一般判定模試 立川学園オリジナル模擬試験「公開模試 2021」				
授業計画	①（旧）国家一般判定模試 ② 初級ゼロワン[基礎①] ③ 初級ゼロワン[基礎②] ④ 初級ゼロワン[実力①] ⑤ 初級ゼロワン[基礎③] ⑥ 国家一般判定模試 ⑦ 初級ゼロワン[基礎④] ⑧ 初級ゼロワン[基礎⑤] ⑨ 初級ゼロワン[実力②] ⑩ 初級ゼロワン[基礎⑥] ⑪ 公開模試 2020 ⑫ 初級ゼロワン[実力③]				
評価方法	方法		評価割合		備考
	確認テスト		0%		
	模擬試験		60%		60 点満点に換算
	授業態度・意欲等		40%		成績の伸びを加味
成績評価 基準	可否	合格			不合格
	評価	A	B	C	D
	評点	100～80	79～70	69～60	59～0

科目	模擬試験演習				
単位	3(単位)				
時間数	45 時間				
担当者	蓮見孝二				
実施年度	2025 年度				
実施時期	2024 年 7 月～9 月				
授業形式	講義：	演習：○	実習：		
学習目標	過去に本試験で出題された模擬試験を解くことで、実力を身に付ける。 主に、前年度の本試験問題を解くことで、試験毎の傾向を知る。				
使用教材	立川学園オリジナル模擬試験「初級ゼロワン[基礎]」 立川学園オリジナル模擬試験「初級ゼロワン[実力]」 過去問模擬試験				
授業計画	① 初級ゼロワン[基礎⑦] ② 特別区Ⅲ類 過去問模試 ③ 警視庁Ⅲ類 過去問模試 ④ 初級ゼロワン[実力④] ⑤ 東京消防庁Ⅲ類 過去問模試 ⑥ L o g i c a l 模試 ⑦ 裁判所職員 過去問模試 ⑧ 刑務官 過去問模試 ⑨ 入警・海保 過去問模試 ※その他必要に応じて、過去問模試を実施する。				
評価方法	方法	評価割合		備考	
	確認テスト	0%			
	模擬試験	60%		60 点満点に換算	
	授業態度・意欲等	40%		成績の伸びを加味	
成績評価 基準	可否	合格			不合格
	評価	A	B	C	D
	評点	100～80	79～70	69～60	59～0

科目	総合演習				
単位	2（単位）				
時間数	30 時間				
担当者	山口朱美				
実施年度	2025 年度				
実施時期	2025 年 4 月～7 月第 2 週				
授業形式	講義：○	演習：○	実習：		
学習目標	習熟度の確認、学力の定着を図るため範囲指定模試を行う。				
使用教材	本校作成の模擬試験				
授業計画	①範囲指定模試第 1 回 ②範囲指定模試第 2 回 ③範囲指定模試第 3 回 ④範囲指定模試第 4 回 ⑤範囲指定模試第 5 回 ⑥範囲指定模試第 6 回 ⑦範囲指定模試第 7 回 ⑧範囲指定模試第 8 回 ⑨範囲指定模試第 9 回 ⑩範囲指定模試第 10 回 ⑪範囲指定模試第 11 回 ⑫範囲指定模試第 12 回				
評価方法	方法	評価割合		備考	
	確認テスト	80%			
	演習課題	0%			
	授業態度・意欲等	20%			
成績評価基準	可否	合格			不合格
	評価	A	B	C	D
	評点	100～80	79～70	69～60	59～0

科目	公務員リテラシー				
単位	4（単位）				
時間数	60 時間				
担当者	岩永敦、山口朱美、蓮見孝二				
実施年度	2025 年度				
実施時期	2025 年 7 月第 3 週～10 月				
授業形式	講義：○	演習：○	実習：○		
学習目標	公務員試験の 2 次試験で実施される、面接、集団討論、グループワーク、論文などに対応できる能力を身につける。				
使用教材	教員が用意するレジュメ				
授業計画	◆面接（主に個別指導） ・自己分析 ・受験先研究 ・面接の所作(入退室など) ・模擬面接 ◆論文（主に添削指導） ・論文の書き方 ・論文作成 ・添削指導 ◆集団討論、グループワーク ・実践				
評価方法	方法	評価割合		備考	
	模擬面接	40%			
	論文	20%			
	授業態度・意欲等	40%			
成績評価基準	合否	合格			不合格
	評価	A	B	C	D
	評点	100～80	79～70	69～60	59～0

科目	ビジネス実務（パソコン実習：ワード）				
単位	1（単位）				
時間数	15 時間				
担当者	山口朱美				
実施年度	2025 年度				
実施時期	2025 年 11 月～2026 年 1 月				
授業形式	講義：○	演習：○	実習：○		
学習目標	ワードを使ったビジネス文書の作成など、ビジネスに必要な基本技術の修得を目指す。				
使用教材	教員が用意するレジュメ				
授業計画	① タイピング ② ワードの基礎知識 ③ ビジネス文書の基礎 ④ ワード基礎総合問題（1） ⑤ ワード基礎総合問題（2） ⑥ ワード基礎総合問題（3） ⑦ ワード基礎総合問題（4） ⑧ ワード基礎総合問題（5） ⑨ ワード基礎総合問題（6） ⑩ ワード基礎総合問題（7） ⑪ ワード基礎総合問題（8）				
評価方法	方法	評価割合		備考	
	確認テスト	0%			
	演習課題	80%			
	授業態度・意欲等	20%			
成績評価基準	合否	合格			不合格
	評価	A	B	C	D
	評点	100～80	79～70	69～60	59～0

科目	ビジネス実務（パソコン実習：エクセル）				
単位	1（単位）				
時間数	15 時間				
担当者	山口朱美				
実施年度	2025 年度				
実施時期	2025 年 11 月～2026 年 1 月				
授業形式	講義：○	演習：○	実習：○		
学習目標	エクセルを使ったビジネス文書の作成、表計算、グラフの作成など、ビジネスに必要な基本技術の修得を目指す。				
使用教材	教員が用意するレジュメ				
授業計画	① エクセルの基礎知識 ② エクセル実践演習（1） ③ エクセル実践演習（2） ④ エクセル実践演習（3） ⑤ エクセル実践演習（4） ⑥ エクセル実践演習（5） ⑦ エクセル実践演習（6） ⑧ エクセル実践演習（7） ⑨ エクセル実践演習（8） ⑩ エクセル実践演習（9） ⑪ エクセル実践演習（10） ⑫ エクセル実践演習（12）				
評価方法	方法	評価割合		備考	
	確認テスト	0%			
	演習課題	80%			
	授業態度・意欲等	20%			
成績評価基準	合否	合格			不合格
	評価	A	B	C	D
	評点	100～80	79～70	69～60	59～0

科目	ビジネス実務（秘書検定）				
単位	2（単位）				
時間数	30 時間				
担当者	山口朱美				
実施年度	2025 年度				
実施時期	2025 年 11 月～2026 年 1 月				
授業形式	講義：○	演習：○	実習：○		
学習目標	電話での対応、正しい敬語の使い方など、社会人としての常識を身につける。秘書検定試験 3 級合格を目標とする。				
使用教材	教員が用意するレジュメ				
授業計画	①第 1 章 1～3 敬語・接遇用語・話し方 ②第 1 章 4～7 報連相・電話、来客対応 ③第 1 章 8～10 慶弔マナー・贈答、見舞いのマナー ④第 1 回模擬試験 ⑤第 2 章 1～4 社内、社外文書 ⑥第 2 章 5～8 文書の取り扱い ⑦第 2 章 9～11 資料の整理・スケジュール管理 ⑧第 2 回模擬試験 ⑨第 3 章 1～4 企業の基礎知識 ⑩第 3 回模擬試験 ⑪第 4 章 1～5 企業に求められる人柄、能力 ⑫第 4 回模擬試験				
評価方法	方法	評価割合	備考		
	確認テスト	0%			
	模擬試験	80%	計 4 回実施		
	授業態度・意欲等	20%			
成績評価基準	合否	合格		不合格	
	評価	A	B	C	D
	評点	100～80	79～70	69～60	59～0

科目	ビジネス実務（漢字検定）				
単位	2（単位）				
時間数	30 時間				
担当者	山口朱美				
実施年度	2025 年度				
実施時期	2025 年 11 月～2026 年 1 月				
授業形式	講義：	演習：		実習：○	
学習目標	社会人として必要最低限の「漢字」を身につけるとともに、漢字能力検定 3 級の取得を目指す。				
使用教材	立川学園オリジナルレジュメ				
授業計画	① 漢字検定対策第 1 回 ② 漢字検定対策第 2 回 ③ 漢字検定対策第 3 回 ④ 漢字検定対策第 4 回 ⑤ 漢字検定対策第 5 回 ⑥ 漢字検定対策第 6 回 ⑦ 漢字検定対策第 7 回 ⑧ 漢字検定対策第 8 回 ⑨ 漢字検定対策第 9 回 ⑩ 漢字検定対策第 10 回 ⑪ 漢字検定対策第 11 回 ⑫ 漢字検定対策第 12 回				
評価方法	方法	評価割合		備考	
	確認テスト	40%		計 2 回実施	
	漢字検定合否	40%			
	授業態度・意欲等	20%			
成績評価基準	合否	合格			不合格
	評価	A	B	C	D
	評点	100～80	79～70	69～60	59～0